

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	JBX1プロジェクト(第一研究棟)	階数	地上4F
建設地	神戸市中央区港島南町7丁目3番7	構造	S造
用途地域	準工業地域、防火地域指定なし	平均居住人員	50人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,380時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年9月 予定	評価の実施日	2024年7月1日
敷地面積	10,404 m ²	作成者	山下 伸治
建築面積	1,158 m ²	確認日	
延床面積	3,391 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安を示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 CASBEE神戸の重要項目		
バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.0	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 3.0
配慮の概要 0	配慮の概要 0	配慮の概要 0
その他の配慮事項 0		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい

CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築(新)
JBX1プロジェクト(第一研究棟)

■使用評価マニュアル CASBEE神戸ver.3/CASBEE-建築
■評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-BD_

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.40	-	-	3.5
1 音環境						3.8	0.15	-	-	3.8
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						4.2	0.40	-	-	
1.2.1 開口部遮音性能		T-2以上				5.0	0.60	-	-	
1.2.2 界壁遮音性能						3.0	0.40	-	-	
1.2.3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
1.2.4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音		壁、床、天井に吸音材を使用				5.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
2.1.1 室温						3.0	0.38	-	-	
2.1.2 外皮性能						3.0	0.25	-	-	
2.1.3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.8	0.25	-	-	3.8
3.1 昼光利用						4.2	0.30	-	-	
3.1.1 昼光率		2.5%以上				5.0	0.60	-	-	
3.1.2 方位別開口						-	-	-	-	
3.1.3 昼光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						4.0	0.30	-	-	
3.2.1 昼光制御		ブラインドと庇にてグレアを制御				4.0	1.00	-	-	
3.3 照度		照度500lx以上1000lx未満				4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御						3.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						4.0	0.25	-	-	4.0
4.1 発生源対策						4.0	0.50	-	-	
4.1.1 化学汚染物質		F☆☆☆☆の建築材料を全面に採用				4.0	1.00	-	-	
4.2 換気						4.0	0.30	-	-	
4.2.1 換気量		30m ³ /h人以上				4.0	0.33	-	-	
4.2.2 自然換気性能		室面積の1/15以上の自然換気有効開口面積を確保				5.0	0.33	-	-	
4.2.3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						4.0	0.20	-	-	
4.3.1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
4.3.2 喫煙の制御		建物内全面禁煙				5.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.3
1 機能性						3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1.1.1 広さ・収納性						3.0	0.33	-	-	
1.1.2 高度情報通信設備対応						3.0	0.33	-	-	
1.1.3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						3.0	0.30	-	-	
1.2.1 広さ感・景観		天井高2.9m以上、窓を設置				5.0	0.33	-	-	
1.2.2 リフレッシュスペース						3.0	0.33	-	-	
1.2.3 内装計画						1.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1.3.1 維持管理に配慮した設計		内装に維持管理のしやすい建材を採用				5.0	0.50	-	-	
1.3.2 維持管理用機能の確保		掃除用流しやコンセントの設置など、清掃環境を整備				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.2	0.30	-	-	3.2
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
2.1.1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2.1.2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						3.7	0.30	-	-	
2.2.1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		押出成形セメント板:25年				4.0	0.20	-	-	
2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		床:タイルカーペット(20年)、壁:壁紙(20年)、天井:ホート(30年)				5.0	0.10	-	-	
2.2.4 空調換気ダクトの更新必要間隔		屋外露出ダクトにステンレスダクトを採用				4.0	0.10	-	-	
2.2.5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水(SUS):C、給湯(SUS):C、排水(VP):B				4.0	0.20	-	-	
2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.0	0.20	-	-	
2.4.1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
2.4.4 機械・配管支持方法		耐震クラスA				4.0	0.20	-	-	
2.4.5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ	0.1以上0.3未満	4.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.5
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	3.6
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.79	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.69	4.1	0.50	-	-	4.1
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.4
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		自動水栓、節水型便器を設置	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.6	0.60	-	-	3.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル系床材、タイルカーペット、吸音材	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上材が容易に分別可能	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率77%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			3.5	0.33	-	-	3.5
2.1 大気汚染防止		電気温水器を採用	5.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制	適切な量の駐輪場、駐車場、導入路を2か所配置	4.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		-	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	チェックリストの過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	